

## 国道6号小美玉道路（仮称）第2回ワークショップの議論のまとめ

### 1. ルート案への期待や懸念と留意点

#### 1) A案

##### ■生活利便性

- ・ A案は、現在のように渋滞で全く動かない、道路に出られないという状況を考えると、右折車線ができるだけでも車移動がしやすくなる。
- ・ 兼業で農業をしていると商売と農地の行き来が必要になる。A案の場合は、右折車線があると行き来の時間が短縮でき、ちょっと畑に行って戻るということができるので助かる。
- ・ 両側ともに拡幅をすると住宅、店舗の移転が多く、今ある駐車場も減るであろう。また、文化財にも影響がある。あらゆる面で影響があるのでA案は避けたい。
- ・ 現在でも振動、騒音で沿道住民は十分苦しんでいる。A案の場合、拡幅することでさらに交通量が増えて一層、振動や騒音に悩まされることにならないか心配である。

##### ■コミュニティへの影響

- ・ A案の場合、美野里エリアは、4車線に拡幅することで移転するしかない家も多いと思う。これまでのコミュニティが明らかに変化するし、さらに拡幅することでの地域のコミュニティの分断が生じてしまうだろう。そのようなことは避けたい。
- ・ 竹原地区は、かつての国道6号新設の時に一度土地を提供している。A案になると、再度土地を提供することになり、心情的にも、コミュニティの面からも良いことにはならないと思う。
- ・ 元は宿場町だったので、竹原～竹原下郷、大曲南～大曲三差路、小岩戸など国道沿いに住宅が集まっている箇所がある。現道拡幅は既存家屋への影響が大きい。現道よりだいぶ幅が広がるので、引っ越さざるをえない人も多いだろう。
- ・ A案では、住宅が多い場所の拡幅は避けた方が良い。土地を買ってもらえることを期待している人がいるかもしれないが、高齢の方が多く住んでいるので引っ越したくないだろう。このまま今の場所で暮らせる様に、現道の沿道はそっとしておいてあげたい。

##### ■事業期間

- ・ A案は、現在、現道沿いにある住宅、商業施設、オフィスなどの数を考えると、拡幅方法が道路中心線からの振り分けにしる、どちらか一方への拡幅にしる、利害関係者の合意を取ることは不可能に近いと思うので、現実的ではないと思う。
- ・ A案では、中野谷交差点から小美玉市役所のあたりまでの区間は特に沿道に住宅が多いため、影響範囲が大きい。事業が長期間化し、いつ完成するか見通せない。
- ・ 40年以上前にバイパスができるという噂を聞いたことがあるが、そのまま現在に至っ

ている。A 案では現道に住宅が多いので買収に時間がかかり、道路ができるまでに 50 年以上はかかりそうだ。早期完成を望んでいるので心配だ。

- ・ A 案では、千代田石岡バイパスとの接点は竹原の辺りになりそうだが、住宅が多いエリアなので、最初の地点から買収に時間がかかり、計画が滞るのではないか。

#### ■工事期間中

- ・ 現道は今でも渋滞がひどく、配達や出前に出たくても道に出られないし、道に出ても動かないという状況で商売にならない。現道拡幅の場合、工事期間中はさらに渋滞がひどくなり商売にならないのではないか。
- ・ 現道拡幅の場合、工事中の迂回路に使えるような広い道も少ないので、通学路などの細街路への車の侵入が増え、子どもや歩行者の安全が脅かされると思う。
- ・ A 案では、工事期間中に渋滞が起きるのが心配だ。
- ・ 今でも竹原交差点近辺は渋滞で動かない状態なので、現道拡幅の場合、工事期間中さらに渋滞するだろう。工事中の渋滞により、脇道に抜ける自動車も増え、周辺道路にも影響が出そうだ。

#### ■渋滞解消

- ・ A 案では、竹原交差点、中野谷中央交差点、堅倉中央交差点は地域にとって主要な交差点なので、円滑なアクセスができるような構造にしてほしい。
- ・ A 案では、4 車線に拡幅しても信号があったらそこで渋滞すると思うので、渋滞解消や走行の円滑化への効果が薄いと思う。

## 2) B 案

#### ■渋滞解消

- ・ 他県から引越してきて道路が少ない地域だと感じている。B 案であれば車で走る道の選択肢が増えるという考え方ができるので、利便性も上がり渋滞解消にもつながるのではないか。
- ・ とにかく国道 6 号の交通渋滞に日々悩まされているので、バイパスの場合は、国道 6 号に合流するのは茨城町に入ってからにしてほしい。
- ・ B 案は交差点がないだろうから交通渋滞はなく、移動性は高まるし、あわせて国道 6 号の慢性的な渋滞も解消されるだろう。
- ・ バイパスで高低差が大きいと、トラックドライバーにとっては、スムーズに走行しづらい。最近も降雪時に、トレーラーが上り坂で上がれなかったというニュースもあったので、そのようなことがないようにしてほしい。
- ・ バイパスの走行のしやすさと現道の沿道事業者のバイパスへのアクセスしやすさを両立できるとよい。
- ・ 茨城空港アクセス道路ができたことで、交通の流れがよくなった。今回の B 案の道路

が整備されることで通行の選択肢が増え、更に渋滞が解消できるのは良い。

- ・ バイパスは脇からの車の出入りが少なく信号も少ないので、車の流れが良くなり、走行時間の短縮に効果的だと思う。
- ・ バイパスでの交差は平面で信号があると混んでしまうので、茨城空港アクセス道路やメロンロードとは立体で交差できるようになると良い。

#### ■物流

- ・ バイパスができることにより、現道沿いの事業者は、道路へアクセスしづらくなり、利便性が下がりそうだ。

#### ■緊急時対応

- ・ B 案はバイパスなので交差点もなく、災害時や緊急時の緊急車両が通りやすいと思う。但し、バイパスと住宅地とつなぐ周辺道路も整備しないと救急車等は困るかもしれない。

#### ■自然・歴史・文化

- ・ B 案はだいぶ幅がある案となっているが、文化財、人家、店舗に影響がないルートを選んで設計してほしい。特に文化財には必ずあたるので、できるだけ影響がないようにしてほしい。
- ・ B 案は、耕作放棄地、遊休地、森林を通るなどして、文化財、人家、店舗に影響がないように工夫してほしい。
- ・ 竹原地区は歴史ある地域で行政区は広いが、かつて国道 6 号を新設する時に土地を提供し、コミュニティを分断させてしまったことがある。祭礼時の御神輿もかつては竹原地区を練り歩いていたが、6 号が新設されたことで今は道路を渡るだけとなってしまっている。B 案になれば国道 6 号の交通量も減少すると思うので、かつての祭礼時の練り歩きが復活すればよいと期待している。

#### ■安全性

- ・ 現在は、現道が渋滞するので大型車が狭い通学路を抜け道にしており大変危険である。B 案で広い道路ができ、大型車がそちらを通るようになることを期待している。
- ・ 茨城空港アクセス道路は信号がないので車がスピードを出していて、トラックも多く、周辺地域の車が通過すると怖い思いをすることがある。B 案の場合、アクセスが良くなる一方で、速度がつい出てしまい交通事故につながることはないよう、安全対策をしっかりと講じてほしい。
- ・ 空港アクセス道路は歩道が狭く危険である。B 案になっても歩行者が危険な目にあわない設計としてほしい。
- ・ 地元でも遠出した先でも国道を良く使う。運転が上手くはないので、スピードは出さ

ずにゆったり走りたいからだ、相当なスピードで走っている車があるので怖い。そういう車のスピードを抑える手だてではないのか。国道が穏やかに、安心して走れる道になってほしい。B案ではバイパスができることで、スピードを出したい車との棲み分けができるとしたら良いと思う。

#### ■生活環境への影響

- ・ 朝夕の時間帯は車の量が多く、トラックも多い。B案のバイパスができれば現道周辺の振動や音が解消されて良い。

#### ■防災

- ・ 高速道路が通行止めの際、その受け皿になる道路が必要だが、現状は対応できていないと思う。B案であれば、その受け皿にもなるのではないかと。

#### ■医療連携への影響

- ・ 前回は医療関係者から意見が出ていたが、この地域は現道が混むため救急医療機関への移送に時間がかかっている。地域としても救急医療機関に早く着けることが必要だと感じている。B案であれば移送ルートが増えることになるので救急医療にも役立つし、地域としても今よりは安心できると思う。

#### ■生活利便性

- ・ B案は沿道の敷地と高低差ができる計画なので、沿道住民の日常生活が不便にならないよう側道を設けて移動ができることが必要だと思う。
- ・ バイパスから空港アクセス道路に円滑にアクセスできるよう、竹原中郷交差点は平面構造にしてほしい。アクセスしやすいところが平面であれば、周辺に事業所も立地しやすくなるだろう。
- ・ 空港アクセス道路とバイパスの交差点のあたりは、平面構造にして、周辺地域からもアクセスしやすくしてほしい。

#### ■コミュニティへの影響

- ・ 現在の現道もかつてはバイパスとしてつくった道路であり、そこに新たな生活やコミュニティができて今がある。B案も同じように新たな生活やコミュニティができていくと思う。人は環境の変化に適応していくものだろう。
- ・ 堅倉交差点付近には、堅倉小学校があるので、B案では影響が起きないように配慮してほしい。
- ・ B案では、高齢者施設のサンホーム竹原のある地域は、影響に配慮してほしい。
- ・ B案では盛土構造にすることで、地域が分断され、対岸が見えづらくなるのが懸念される。

- ・ B 案では盛土構造になることで、高低差が現状とどれくらい変わってくるのかイメージがつかないので、影響が判断できない。
- ・ バイパスを盛土構造にする必要があるのか。高い盛土は地域を分断するので、地形の高低差を平坦化するだけの最低限の盛土に留めてほしい。多量の盛土はどこから運び入れるのか。環境への負荷も気になる。
- ・ B 案では、堅倉小学校、幼稚園、太陽保育園、サンホーム竹原などの、小学校や幼稚園、保育園、福祉施設に影響がないルートにしてほしい。
- ・ 中央家畜市場～太陽保育園～美野里変電所には高圧送電線が通っているため、そのルートには住宅がほとんどない。B 案では、それを活用すれば移転の問題が少なく、コミュニティへの影響を抑えることができるのではないかと。調整池も作りやすいと思うので、道路排水の水田への影響も軽減できると思う。

#### ■地域活性化

- ・ 地域住民としては、B 案の方が現道のような曲がりもなく、真っ直ぐで早く走れるので合理的だと思うが、現道沿いの商業施設の利用が減るのではないかと心配になる。
- ・ バイパスができると現道沿いの商業施設の利用が減るのではないかと心配の声があるが、現在の現道は渋滞が酷すぎて商売にならない。B 案ができて交通量が分散することで現道の渋滞が減り、以前のように商売ができることを期待している。
- ・ バイパス案にして移動性を高めることで、国道 6 号の交通量が減るだろう。国道 6 号が生活道路のような役割となり、うまく道路を使い分けることができるのではないかと。道路を役割分担することで、国道 6 号沿道の店舗の活性化や沿道周辺のまちづくりに取り組むきっかけになることに期待したい。
- ・ B 案はバイパス案で盛土（切土）になれば、沿道の周辺開発はしにくいだらう。その分、国道 6 号沿いのまちづくりを考えるきっかけにすることができるのではないかと。
- ・ バイパスを盛土構造にすると、周辺住民がアクセスしづらくなるのに加え、沿道に事業所などが立地せず、周辺地域への経済的な効果や活性化のメリットがない。高速道路とは違うので、地域にもプラスになるような道路にしてほしい。
- ・ B 案のバイパスができればアクセス性が上がり、住宅地の開発も進むかもしれない。現道拡幅よりもまちの活性化につながる可能性がある。現状では若い人が住むような活性化の起爆剤はないので、状況が良くなる可能性がある案が望ましい。

#### ■営農環境への影響

- ・ B 案ではルート帯には農地が多く、農家への影響が心配だ。バイパスができるだけで地元が将来発展するとは想像しにくい。
- ・ 美野里地区は大規模な酪農が盛んなエリアなので、B 案では酪農への影響をできるだけ小さくしてほしい。
- ・ B 案では作業で使っている道ができるだけこれまで通り使えるようにしてほしい。盛

土になると作業用の道路が分断され、これまでの様に行き来しにくくなる可能性がある。盛土ではなく平面な構造が望ましい。

- ・ B 案では盛土構造にすると、平面構造よりも用地買収範囲が大きくなり、農業への影響が増えそうだ。
- ・ B 案では、畑や水田の真ん中を道路が通るのは困る。大きな土地を持っている農家は機械を使って耕作しているので、土地が分断されると効率が悪くなってしまう。農作地はまとまった広さがないと営農しにくくなるものだ。八坂神社と十三遺跡の北側、三所神社周辺、美野里変電所の北側などに水田がある。B 案では、水田に水を供給するパイプが道路によって分断されると、道路の下を通してつなげるにしても大変で、管理が難しくなるので心配だ。
- ・ B 案では、大雨の時に道路からの排水が、水田の水路に流れ込むのではないかと心配している。一気に流れ込む排水で、普段はゆっくり流れている水が濁流になるのではないか。そういう事例があると聞いたので心配だ。

#### ■事業期間

- ・ これまで何度か道路計画の利害関係者になった経験から言うと、計画ルートに住宅があると用地交渉や移転交渉に長期間かかり、なかなか計画が進まなかった。現道の渋滞を解消するには B 案で道が増えるのがよいと思うが、用地交渉や移転交渉に時間がかからないように住宅や施設を避けたルートを考えてほしい。
- ・ B 案はルートのほとんどが農地や林を通るので買収の費用がかからず、時間もかからないのではないか。工事が進めやすいと思う。

#### ■自然環境への影響

- ・ B 案の場合、住宅や施設を避けようとする自然環境が残っているところを通すことになるだろう。ある程度はやむを得ないと思うが、できるだけ自然環境を保全できるよう配慮してほしい。
- ・ 小美玉市内の道路は、元々の土地の起伏に合わせてつくられており、土地を削ったり盛ったりしない「優しい道路」になっている。B 案で進める場合は、そのことを考えた道路計画になることを期待している。
- ・ B 案には地形的に高低差があるところも多い。できるだけ削ったり盛ったりしない道路づくりを考えてほしい。

### 3) 両案共通

#### ■渋滞解消

- ・ 清風台団地入り口も渋滞がひどくなかなか道路に出られないので、道路計画によって渋滞が解消されることを期待している。

### ■コミュニティへの影響

- ・ 千代田石岡バイパスにつながる竹原城址付近は、地形も複雑で狭い道が多く通っている。両案ともこの辺りを通ることになるので、今ある道が分断されて地域の行き来がしづらくなってしまわないか。
- ・ どちらの案になっても、現在の地域コミュニティに影響がないようにしてほしい。道路が整備されることでコミュニティを分断することがないようにしてほしい。
- ・ どちらの案になっても、現在生活している地域住民の生活環境を悪くしたり、コミュニティを分断することは避けてほしい。生活者に配慮したルートを選んでほしい。

### ■文化財への影響

- ・ A 案、B 案ともどうしても遺跡がひっかかる。文化財担当の立場からすればどちらの案になっても粛々と調査をしていくしかないのだが、おそらく B 案のほうが遺跡等の文化財への影響が多く、特に竹原城跡跡への影響はどうしてもあるだろう。できるだけ文化財を守るようにルートを配慮してもらいつつ、どうしても通過してしまうルートにある文化財については、別の形でどう守れるのか検討もしていきたい。
- ・ 竹原地区の住民は、竹原城跡がちょうど道路にあたるのではないかと心配している。史跡の箇所だけでも道路を地下化したり、道路整備後に竹原城跡を復元するなど、保全への配慮をしてほしい。

### ■安全性

- ・ 茨城空港アクセス道路は、竹原小学校の近くを通るように整備されてしまった。整備後に児童たちの交通の安全面や防犯面に非常に影響があるとわかり対策を練ったが、次からはこのようなことがあってはならない。A 案、B 案ともに竹原小学校に安全性への影響があり、さらに B 案は堅倉小学校にも影響がありそうだ。小学校周辺など子どもが多いエリアを通過するのは避けてほしい。
- ・ どちらの案になっても、自転車が車道に入らないようにしてほしい。自転車通学の子どもの安全性を確保してほしい。

### ■ネットワーク

- ・ A 案、B 案いずれの場合も、周辺交通の流れが変わる可能性が高い。国道 6 号の整備だけでなく、周辺道路の整備も併せて行い、地域全体の交通円滑化を図ってほしい。

### ■生活利便性

- ・ 茨城町エリアは老人施設や物流施設が沿道に多くあるため、影響が大きくなりそうだ。
- ・ いずれの案も中央分離帯ができるため、右折しにくくなり、迂回する車両が増え、事業所や地元住民にとっては不便になりそうだ。
- ・ 住んでいる地域によってルートに対する要望が変わるのではないか。南側の地区住民

は、今でもあまり国道を使っていないので近くにバイパスができれば便利になる。一方で、バイパスの近くに住んでいる人は国道を頻繁に使うので、現道が整備された方が良いかもしれない。住んでいる人の数は国道側の方が多い。

#### ■地域活性化

- ・ 茨城町が市街化調整区域であるのに対し、小美玉市は市街化区域なので、道路整備を機に用途変更など土地の流動性が高まることが期待される。
- ・ 道路整備の用地買収によって、残地が中途半端になる場所もでると思うが、道路整備を機に一体的な耕地整理なども行えるとよい。耕地整理だけ着手しようとしても、なかなか進められないが、道路整備と併せて取り組めば、逆に耕地整理も進めやすくなることが期待される。

#### 4) 新たな案

- ・ とにかく国道 6 号の交通渋滞に日々悩まされているので、バイパスの場合は、国道 6 号に合流するのは茨城町に入ってからにしてほしい。

## 2. 評価指標への提案

### 1) 追加する評価指標

- ・ 工事中の渋滞の低減（課題・目的 1）工事中の渋滞が心配なので、工事中の現道や計画道路周辺の渋滞がどうなるのかを評価することも必要ではないか。
- ・ 地域の祭りでの道路使用（課題・目的 8）住民にとっては、400 年続く堅倉の祭りができるかどうかは大きなポイントだ。かつては 3 日間行っていたが、現在は道路使用許可が下りず 1 日だけになっている。このことも評価の一つとして住民は考えたい。

### 2) 防災

- ・ 緊急輸送道路のことだけでなく、地震、水害・冠水時にも利用できるのか、盛土をすることによって災害時の安全性や耐久性に影響が出ないかなど、災害時に機能が確保できるかという視点も入れてほしい。
- ・ 信号が多くあることは、防災面からみてもマイナスの要素ではないか。
- ・ 現道だと周辺に民家が多く、そこからの車両の出入りがあるため、緊急時にも渋滞が発生する可能性があると思う。出入りする車が少ない方が良いのではないか。

### 3) 生活環境

- ・ 国道 6 号沿道やその周辺住民の生活利便性への影響という視点を入れてほしい。買い物、送迎等をする際に沿道住民・周辺住民が移動しやすいか等の利便性等の評価を知りたい。

#### 4) 自然・歴史・文化

- ・ 歴史的環境の維持といった視点も加えてほしい。歴史的環境とは、かつての里山の風景、かつての旧街道の面影、集落維持などのことであるが、歴史ある地区なのでそのような視点は忘れずにいたい。

#### 5) まちづくり

- ・ 歩行者の安全性の確保といった視点は大切である。特に子どもたちの安全性が確保されているのかを知りたい。命に係わることであり、整備されてからでは手遅れとなることもあるのでとても大切な視点だと思う。
- ・ 地域コミュニティへの影響としては、移転家屋の数や移転しなければならない高齢者への精神的な影響も考えて評価してほしい。これまでの生活を守れるのかという視点が重要だ。
- ・ 道路ができることでマイナスが発生しないかという面だけでなく、住宅地としての価値の上昇、地域活性化などのプラスが生まれるかも評価できると良い。ただ、もしバイパスが整備されてトラック基地ができたなら、音や振動が発生するのはマイナスだが、雇用が生まれるという点ではプラスなので、両面ある場合も考えられる。

#### 6) 交通事故

- ・ 交通事故を減少させるのであれば、道路はなるべくアップダウンが少なく、直線的な方が良いと思う。この項目ではその点も評価してほしい。

### 3. その他

#### 1) 進め方

##### ■ワークショップの進め方

- ・ 配布資料の A3 地図は字が小さすぎて読めない。せっかく作ったのに使えないのは残念だ。参加者のことを考えた資料づくりをしてほしい。

##### ■構想段階での検討の進め方

- ・ ワークショップの参加者は高齢者が多いが、他にも子育て世代、若い人、子どもといった地域の多様な世代がそれぞれに感じている期待、懸念があると思うので、それらを聞く機会が必要ではないか。
- ・ 学校や保育園は、通学通園に絡んで気になることや意見もあると思うので、個別に聞く必要があると思う。堅倉小学校はどのルートでも影響があると思うので聞いてほしい。
- ・ ワークショップのように集まるのが難しければ、オンラインで行うなど他の手法を用いることを検討してほしい。

- ・ ワークショップが今回で終わるとしても、住民がもう少し検討に関わりがもてるようにしてほしい。
- ・ ワークショップ後の事業の経過を、小美玉地区だけでなく周辺地区も含めて情報を共有したい。
- ・ 商工関係者や農業関係者ともコミュニケーションをした上で検討してほしい。
- ・ 小美玉市の区間だけで個別に整備を進めると、部分的に渋滞解消されても、その先でボトルネックになり、根本的な渋滞解消にはならない。整備するのであれば、前後の区間を含め、一体的に事業推進した方が、事業費も無駄にならず済むのではないか。
- ・ 計画の内容のことを良く理解している人なら web で意見が言えるだろうが、資料を見ても十分理解できていないことがあると躊躇してしまう。国土交通省に直接意見を伝えるというのはハードルが高いが、身近な市のレベルであれば疑問点などの確認がしやすく、意見も言いやすい。市の担当者では答えられない点が多いとは思いますが、意見を伝えるルートとして、「住民から直で国交省」だけではなく「市を通じて国交省」という形があると良い。
- ・ 今後のフェーズでは web による意見収集をするとあるが、地元農家や市民が書き込める掲示板の様なものと良い。そういう web 上のコミュニティを活用した方が気軽に意見が言えるのではないか。

## 2) 質問

- ・ 両案ともに事業費はどのように算出しているのか。移転費も含まれてこの額なのか。両案ともに 100 億円もの幅があるがどうしてなのか知りたい。(事務局から回答済)
- ・ 国道 6 号小美玉道路(仮称)とあるが、A 案になったら仮称をとり、B 案になったら違う名称になるということが良いのか、また、いつ正式名称が決まるのか知りたい。(事務局から回答済)
- ・ どの段階でより詳細なルート案が決まるのか。資料 5 に計画・事業の流れはあるが、都市計画決定までのスケジュールが示されていない。案が一本化するのはいつになるのかを知りたい。

## 4. 配慮すべき地域の資源等

### 1) 清風台団地入り口

- ・ 渋滞がひどくなかなか道路に出られないので、道路計画によって渋滞が解消されることを期待している。

### 2) 千代田石岡バイパスにつながる竹原城址付近

- ・ 形も複雑で狭い道が多く通っている。両案ともこの辺りを通ることになるので、今ある道が分断されて地域の行き来がしづらくなってしまわないか。

### 3) 堅倉小学校

- ・ 学校や保育園は、通学通園に絡んで気になることや意見もあると思うので、個別に聞く必要があると思う。堅倉小学校はどのルートでも影響があると思うので聞いてほしい。

### 4) 美野里エリア

- ・ 4車線に拡幅することで移転するしかない家も多いと思う。これまでのコミュニティが明らかに変化するし、さらに拡幅することでの地域のコミュニティの分断が生じてしまうだろう。そのようなことは避けたい。

### 5) 竹原地区

- ・ かつての国道6号新設の時に一度土地を提供している。A案になると、再度土地を提供することになり、心情的にも、コミュニティの面からも良いことにはならないと思う。
- ・ 歴史ある地域で行政区は広いが、かつて国道6号を新設する時に土地を提供し、コミュニティを分断させてしまったことがある。

### 6) 竹原小学校 堅倉小学校

- ・ 茨城空港アクセス道路は、竹原小学校の近くを通るように整備されてしまった。整備後に児童たちの交通の安全面や防犯面に非常に影響があるとわかり対策を練ったが、次からはこのようなことがあってはならない。A案、B案ともに竹原小学校に安全性への影響があり、さらにB案は堅倉小学校にも影響がありそうだ。竹原小学校、堅倉小学校周辺など子どもが多いエリアを通過するのは避けてほしい。

### 7) 遺跡（特に竹原城跡跡）

- ・ A案、B案ともにどうしても遺跡がひっかかる。文化財担当の立場からすればどちらの案になっても粛々と調査をしていくしかないのだが、おそらくB案のほうが遺跡等の文化財への影響が多く、特に竹原城跡跡への影響はどうしてもあるだろう。できるだけ文化財を守るようにルートを配慮してもらいつつ、どうしても通過してしまうルートにある文化財については、別の形でどう守れるのか検討もしていきたい。
- ・ B案はだいぶ幅がある案となっているが、文化財、人家、店舗に影響がないルートを選んで設計してほしい。特に文化財には必ずあたるので、できるだけ影響がないようにしてほしい。
- ・ B案になる場合は、耕作放棄地、遊休地、森林を通るなどして、文化財、人家、店舗に影響がないように工夫してほしい。

8) 竹原交差点、中野谷中央交差点、堅倉中央交差点

- ・ 地域にとって主要な交差点なので、円滑なアクセスができるような構造にしてほしい。

9) 中野谷交差点から小美玉市役所のあたりまでの区間

- ・ 特に沿道に住宅が多いため、影響範囲が大きい。事業が長期間化し、いつ完成するか見通せない。

10) 竹原交差点付近

- ・ 今でも渋滞で動かない状態なので、現道拡幅の場合、工事期間中さらに渋滞するだろう。工事中の渋滞により、脇道に抜ける自動車も増え、周辺道路にも影響が出そう。

11) 堅倉小学校

- ・ 影響が起きないように配慮してほしい。

12) サンホーム竹原

- ・ 高齢者施設のある地域は影響に配慮してほしい。

13) 竹原中郷交差点

- ・ バイパスから空港アクセス道路に円滑にアクセスできるよう、平面構造にしてほしい。アクセスしやすいところが平面であれば、周辺に事業所も立地しやすくなるだろう。

14) 空港アクセス道路とバイパスの交差点

- ・ 平面構造にして、周辺地域からもアクセスしやすくしてほしい。

15) 美野里地区

- ・ 大規模な酪農が盛んなエリアなので、酪農への影響をできるだけ小さくしてほしい。

16) 竹原城址

- ・ ちょうど道路にあたるのではないかと竹原地区の住民は心配している。史跡の箇所だけでも道路を地下化したり、道路整備後に竹原城址を復元するなど、保全への配慮をしてほしい。

17) 茨城町エリア

- ・ 老人施設や物流施設が沿道に多くあるため、影響が大きくなりそう。

18) 竹原～竹原下郷、大曲南～大曲三差路、小岩戸

- ・ 元は宿場町だったので国道沿いに住宅が集まっている箇所がある。現道拡幅は既存家

屋への影響が大きい。現道よりだいぶ幅が広がるので、引っ越さざるをえない人も多いだろう。

#### 19) 竹原交差点エリア

- ・ 千代田石岡バイパスとの接点は竹原の辺りになりそうだが、住宅が多いエリアなのでまず最初の地点から買収に時間がかかり、計画が滞るのではないか。

#### 20) 茨城空港アクセス道路、メロンロードとの交差

- ・ バイパスでの交差は平面で信号があると混んでしまうので、茨城空港アクセス道路やメロンロードとは立体で交差できるようになると良い。

#### 21) 堅倉小学校、堅倉幼稚園、太陽保育園、サンホーム竹原

- ・ 小学校や幼稚園、保育園、福祉施設に影響がないルートにしてほしい。

#### 22) 中央家畜市場～太陽保育園～美野里変電所

- ・ 高圧送電線が通っているため、そのルートには住宅がほとんどない。それを活用すれば移転の問題が少なく、コミュニティへの影響を抑えることができるのではないか。調整池も作りやすいと思うので、道路排水の水田への影響も軽減できると思う。

#### 23) 八坂神社と十三遺跡の北側、三所神社周辺、美野里変電所の北側

- ・ 水田がある。水田に水を供給するパイプが道路によって分断されると、道路の下を通してつなげるにしても大変で、管理が難しくなるので心配だ。